



報道関係各位

2026 年 10 月 9 日
ダノンジャパン株式会社

ダノンジャパン、群馬県内で探究型教育プログラム 「ダノン未来アカデミー・館林」を始動

— 次世代を担う高校生が、地域の魅力と課題を探究し「食」を通じた解決策を考案 —

ダノンジャパン株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：ロドリゴ・リマ）は、館林市との包括連携協定のもと、地域の次世代人材育成を目的とした探究型教育プログラム「ダノン未来アカデミー・館林」を 2026 年 10 月より開始します。本プログラムは、地域活性化や次世代の担い手育成といった地方都市共通の課題を背景に実施するものです。2026 年度は、群馬県立館林商工高等学校の商業科 1 年生約 60 名が地域の課題や魅力について学びながら、『食』を通じて地域をより良くするにはをテーマに、課題解決策を考案します。全 6 回の授業とワークショップを通じて、高校生ならではの視点から地域課題の解決や地域活性化につながるアイデアを創出し、優れた提案には、館林市およびダノンジャパンによる表彰を行います。



■ 本プログラムの実施背景

ダノンジャパンは、2002 年の館林工場設立以来、地域社会との共生と大切にしながら事業を展開してきました。2025 年には館林市と包括連携協定を締結し、健康増進、地域活性化、雇用・人材育成など、幅広い分野で連携を推進しています。また、工場拡張プロジェクトの推進に伴い、2028 年の稼働開始に向けて新たな雇用創出も予定しています。

一方、館林をはじめとする地方都市では、地域を担う次世代との接点づくりや若年層の地域への関心醸成が重要なテーマとなっています。そこでダノンジャパンは、高校生が地域の魅力や課題について学び、地域の未来について主体的に考える機会を創出することで、地域への理解や愛着を育み、将来の地域活性化につながるきっかけを提供したいと考え、本プログラムを企画しました。

■ 本プログラムの特徴

「ダノン未来アカデミー・館林」は、企業による職業紹介や食育にとどまらず、高校生が地域の魅力や課題を発見し、自ら解決策を考え提案する探究型プログラムです。生徒たちは、地元・館林市に工場を構えるダノンジャパンの事業や、「食」と「健康」に関する知識を学ぶとともに、地域が抱える課題や魅力について理解を深めます。授業には、ダノンジャパンの館林工場に勤務する従業員も参加し、地域で働くことや食に関わる仕事の魅力を伝えるとともに、高校生が将来のキャリアについて考える機会を提供します。

さらに、『食』を通じて地域をより良くするには」をテーマにワークショップを実施し、地域の未来につながるアイデアの考案・発表機会を設けます。プログラムの成果はコンテスト形式で審査し、「館林賞」「学校賞」「ダノン賞」を表彰する予定です。高校生ならではの自由な発想による提案を評価するとともに、地域の未来について考えた学びの成果を、行政・学校・企業全体で共有する機会とします。

■ 実施概要（2026 年度）

名称	ダノン未来アカデミー・館林（Danone Mirai Academy Tatebayashi）
主催	ダノンジャパン株式会社
実施時期	2026 年 10 月～11 月（全 6 回／1 コマ 50 分） ※表彰式は 12 月を予定
対象	群馬県立館林商工高等学校 商業科 1 年生 2 クラス 約 60 名
実施形式	「ビジネス基礎」の授業内で実施する探究型プログラム＋メニュー提案コンテスト

■コーポレートアフェアーズ本部 シニア パブリックアフェアーズ&サステナビリティ マネジャー 佐々木 恭子のコメント

「ダノンジャパンにとって館林市は、国内で販売する全ヨーグルト製品を生産する国内唯一の工場を擁し、2002 年の工場設立以来、ともに歩みながら成長してきた、なくてはならないパートナーです。現在、館林工場では拡張工事を進めており、2028 年からは増強した新たな生産体制のもと、館林から全国のお客さまへ製品をお届けしていく予定です。これからも持続的に事業を発展させていくためには、地域が活力を持ち続け、次世代を担う若い世代が地域への関心や愛着を育みながら成長していくことが大切だと考えています。」

私たちにとって、館林市の未来はダノンジャパンの未来そのものです。新たに始動する『ダノン未来アカデミー・館林』は、『企業は収益性を追求しながら、同時に社会にポジティブな変化をもたらす存在であるべきである』というダノンの『デュアル・プロジェクト』の理念を日本で具体的に実践する取り組みの 1 つです。本プログラムを通じて、私たち自身も生徒の皆さんの新しい視点や発想から学びながら、館林市や学校の皆さまとともに、地域をより良くするためのアイデアや新たな取り組みの可能性を探る機会にしたいと考えています。」

<ダノンジャパンについて>

1919 年に世界初のヨーグルト工業化に成功し、現在フランス・パリに本拠を置くダノンは、「世界中のより多くの人々に、食を通じて健康をお届けする」ことをミッションに、健康を重視した製品群を通して世界中でシェアを拓いている、食品・飲料業界のリーディングカンパニーです。ダノンは「チルド乳製品と植物由来の製品」「ウォーター」「専門栄養食品」の 3 つのカテゴリーでグローバルに事業を展開しており、世界 120 以上の地域で製品を販売しています。日本市場には 1980 年に参入し、現在はダノンジャパン株式会社として、乳製品の「ダノン ビオ」「ダノン オイコス」「ダノンヨーグルト」「ベビーダノン」「プチダノン」、また植物性食品（オーツミルク）の「アルプロ」を展開しています。またダノンジャパンは 2020 年、日本の大手消費財メーカーおよび食品業界で初めて、社会や環境に配慮した事業活動において一定の基準を満たした企業のみ与えられる国際認証「B Corp」を取得しており、「One Planet. One Health」というビジョンのもと、より健康的で持続可能な事業展開・経営に尽力しています。

<https://www.danone.co.jp>

【お客様からのお問い合わせ先】

ダノンジャパン お客様相談室

フリーダイヤル：0120-409-610（祝日を除く平日 9：00～17：30）